



6月15日 さあ、いよいよ全国植樹祭

テーマ「手をつなごう 森と水とわたしたち」 秋田から世界へ環境メッセージ発信

6月15日に県立北欧の杜公園で開かれる第59回全国植樹祭の式典リハーサルが5月18日、現地で行われ、演技音楽演奏、介添え役などで出演する市内の小中高生、郷土芸能保存会のメンバーらが植樹祭本番に向けて演技の動きや進行などを確認しました。天皇皇后両陛下ほか、全国から1万2千人が訪れる緑と環境の祭典を15日後に控え、6月1日には総合リハーサルが行われるなど、入念な準備が進められています。

アトラクションを披露する演技隊には、市立小学校全16校の小学6年生が出演し、自然の循環と秋田の自然の豊かさを表現します



記念式典・イベントには本市から数百人規模の小中高生、団体が出演。式典では、市内16小学校の児童がアトラクションの演技と、天皇皇后両陛下ほか来賓・招待者によるセレモニーでの介添えの役割を、中学校5校の生徒が合唱隊・介添え役を担い、また市内4高校の吹奏楽部が君が代など式典曲を演奏する音楽隊を務めます。このほか、北秋田市からは、式典やイベント広場でのアトラクションで太鼓演奏や獅子踊り、駒踊りなど郷土芸能保存会グループが演技を披露することになっています。5月18日の式典リハーサルでは、式典スタッフ、出演者ほか総勢で500人ほどが会場に集合、本市からは小学生約330人のほか郷土芸能保存



天皇皇后両陛下や大臣、特別招待者の記念植樹などで介添え役を担う児童たち。しっかりと動きを確認しました

会のメンバーらが参加しました。

演技隊が披露するのは、秋田の森・川・海、豊かなめぐみの循環」と題する約8分間のアトラクション。水を使い、湧き出した水が川を流れて海に達し、さらに蒸発した水が最後には雨になって再び大地に戻るという自然の循環と秋田の自然の豊かさを表現します。各校の児童は、はじめに式典会場か

の役割をしっかりと確認。演技隊が披露するのは、秋田の森・川・海、豊かなめぐみの循環」と題する約8分間のアトラクション。水を使い、湧き出した水が川を流れて海に達し、さらに蒸発した水が最後には雨になって再び大地に戻るという自然の循環と秋田の自然の豊かさを表現します。各校の児童は、はじめに式典会場か

少し離れた場所で個別に布の動き方、間合いの取り方などの練習をしたあと、アトラクション会場に移動、一連の動きを通して何度も繰り返しながら一人ひとりの役割を確認していった。また、介添え役の小中学生は、式典スタッフ指導のもと、式典の進行に合わせ、自分の役割や動き、立ち位置などをひとつひとつ確認し、念入りに何度も繰り返しながら、練習を重ねていった。介添え役の緑の少年団として参加する竜森小学校の堀部直世君(6年)は、教えられたことはうまくできたと話す。この後も自分の役割をしっかりとできるよつにして、植樹祭本番に臨みたいと話していました。高校生の音楽隊は市内の4校を含め6校の生徒約200人で編成。一方、式典音楽隊・吹奏楽隊のリハーサルは森吉総合スポーツセンターで行われ、市内外の高校生120名が参加しました。式典音楽は、県内高校生による吹奏楽隊と本県出身の世界的な作曲家・天野正道さん指揮による管弦楽団が演奏します。リハーサルには、市内から鷹巣高校、鷹巣農林高校、合川高校、米内沢高校の4校と秋田市から秋田南高校の生徒らが参加。本番の植樹祭式典では、新屋高校、秋田市も加わり、県内6校約200名の合同音楽隊と

全国植樹祭の進行スケジュール

- 開会前(7:25~)
- 招待者入場
- イベントステージ
- 環境デザイントークほか
- プロローグ(10:20~)
- 水と緑のリレーメッセージ
- 感謝状の贈呈ほか
- 記念式典(10:56~)
- 天皇皇后両陛下下御着
- 三旗掲揚・国家斉唱
- 主催者あいさつ
- 天皇陛下のおことば表彰
- 苗木の贈呈
- 天皇皇后両陛下お手植え・お手撒き
- 代表者記念植樹・三代記念植樹
- アトラクション
- 「秋田の森・川・海~豊かなめぐみの循環」
- 大会宣言
- リレーセレモニー
- 天皇皇后両陛下ご退席
- エピローグ(12:00~)
- 太鼓演奏ほか
- イベントステージ再開
- (終了15:00)

参加者記念植樹は記念式典開会前と終了後(午後)に行われます

地球温暖化防止対策への秋田県の取り組みなども紹介。また、イベント広場では秋田県、北秋田市の特産品が販売されるほか、秋田県の地球温暖化防止対策への取り組み、林業や木材産業、観光や文化がパネル展示や映像で紹介されることになっています。なお、植樹祭についての詳細は、次までお問い合わせください。

北秋田市産業部全国植樹祭推進室(☎62・6628) / 秋田県農林水産部全国植樹祭推進室(☎018・8601751) 役所総務課(☎62・1111)まで。



さらに、中学生による合唱隊は全国からの参加者を秋田にちなんだ童謡「つじよつこふなつこ」や、浜辺の歌」で歓迎します。

記念式典に出演する 小中高生の皆さんに抱負を伺いました



まつはし かける 松橋 翔くん 大阿仁小学校6年(介添え)

ぼくは今回の植樹祭で、お手まきを担当します。たくさんのお客さんの前で緊張するかもしれませんが、全国の皆さんが注目しているこの行事で立派に役目を果たしたいと思います。この植樹祭を通じて、たくさんの方に自然の大切さを知ってもらいたいと思います。



たけいし ちえ 武石知恵さん 森吉中学校3年(合唱隊)

全国植樹祭は、やりたくてもめつたに経験できない行事です。そんな行事に私たちが参加すると聞いて本当に私たちにできるのか不安でいっぱいでした。私たち中学生は、「つじよつこふなつこ」や「浜辺の歌」を合唱します。たくさんの方の心に思いが伝わるように、きれいな歌声を届けたいです。



さいとう りずき 齋藤瑞希さん 合川西小学校6年(介添え)

私はお手まき担当です。礼をするタイミングやますの持ち方などをまちがえないように、気をつけたいです。本番当日は、とても緊張してしまうと思うけれど、ひとつひとつの動作を心をこめて確実に行って成功させたいと思います。お手まきのお手伝いを精いっぱいがんばりたいです。



さいとう あやこ 佐藤彩子さん 鷹巣高校3年(音楽隊)

豊かな緑を育てるために開かれる植樹祭。その演奏に参加することとなり、責任感と緊張感でいっぱい。練習を重ね、植樹祭の名に恥じぬよう、堂々と演奏したいと思えます。また、植樹祭を通して、ここ北秋田市がさらに緑豊かになることを願っています。